

ごうつ

# 市議会だより

2015. 8 No. 124

題字：土井菜々子さん（高角小6年）

ねえねえ、

一緒に踊ろう



渡津保育所の夏祭り

撮影者：鍛治恵巳子

平成27年度一般会計 補正予算

可決

補正額 **1億5,865万円**

(総額158億2,365万円)



地域医療支援対策事業

**1億円**

済生会江津総合病院の経営安定化を図るため、非常勤医師の雇用経費と減少した入院診療収益への補助を行うもの。

《委員質問》

問 補助額の内訳はいくらなのか。

答 現時点では未定であり、明確に内訳は言えない。



放課後児童クラブ事業

**1,861万円**

利用者が増加する高角小学校放課後児童クラブの南側に新たにクラブ室を増設するもの。



担い手育成対策事業  
(二宮町トマト栽培施設)

**713万円**

企業の農業参入を促進するため、事業者に補助金を交付し支援するもの。



風の国維持管理事業  
(2名のコンサルタント)

**1,000万円**

風の国の経営改善と黒字化経営を目指すため、コンサルティング会社に業務委託した経費の一部を支援するもの。

## 委員会ピックアップ

### 総務文教委員会

#### 陳情・安全保障関連法案に反対

=内容=

安全保障関連法案に反対する意見書を国に提出するよう求めるもの。

### 建設厚生委員会

#### 条例改正・家庭的保育事業の運営

=内容=

厚生労働省令の改正に伴い、小規模保育施設(※1)でのみなし保育士(※2)の規定について「准看護師」を加えるもの。

《委員質問》

問 准看護師を加えることで、メリットはあるのか。

答 小規模保育施設における地域の多様なニーズに細かく対応ができる。

問 子ども子育て支援新制度が始まって日が浅い中、すぐに条例改正するのはどうか。

答 国の省令改正に対応しないわけにはいかない。



### クリック

#### ※1 小規模保育施設とは？

定員が6人から19人までの少人数を受け入れる施設で、家庭的な雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行う施設です。主に0歳児から2歳児までを受け入れ対象としています。  
(現在、本市にはこの施設はありません)

#### ※2 みなし保育士とは？

地域の実情などにより保育士の確保が困難な場合、保健師や看護師などを保育士とみなして、その知識を生かしながら保育業務に従事してもらうものです。保育業務に従事してもらう場合には、研修を行い、保育業務に対する資質の向上に努めます。

### 【会議規則改正】

このたび、江津市議会では、女性議員が活躍できる環境を整備して議会を活性化し、より良い住民サービスを実現するため、**出産に伴う議会の欠席**に関する規定を追加する一部改正をしました。

## 本会議における賛成・反対意見

### 陳情第1号 安全保障関連法案に反対する意見書の提出

不採択

<p>反対・坪内</p>	<p>国民の命と平和な暮らしを守ることは政府の最も重要な責務。我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増し、脅威が世界のどの地域においても発生し、我が国に直接的な影響を及ぼし得る状況。あらゆる事態に切れ目のない対応を可能とする法整備を行い、争いを未然に防ぐ力を高めることが必要と考え、意見書提出に反対。</p>	<p>賛成・多田</p> <p>安全保障関連法案は、日本への武力攻撃がなくても自衛隊の海外派兵や武器使用を可能にする戦争法案で、憲法審査会では自民党・公明党推薦の憲法学者までもが憲法違反とした。世論調査でも、法案への反対が5割に迫ろうとしている。日本を殺し殺される国にしないため、意見書提出に賛成。</p>
	<p>賛成・森川</p> <p>安全保障関連法案が成立すれば集団的自衛権により、日本がアメリカによる国際法無視の先制攻撃戦争に参戦することとなる。その際に行う後方支援は攻撃対象となるし、治安維持活動も民間人を殺傷する恐れがある。日本が侵略国となり、殺し殺されることが現実となるため、法案に反対する意見書の提出に賛成。</p>	

### 議案第47号 小規模保育施設の保育士

可決

<p>反対・森川</p>	<p>子ども子育て支援制度で規定された小規模保育施設では、1名に限り保健師・看護師を「みなし保育士」とすることが可能だが、条例案では准看護師も「みなし保育士」とすることが可能となる。看護師と准看護師では受けた教育・職務が異なり、保育の質の低下につながる。本市独自の規定を設け、現行の制度を維持すべきであり反対。</p>	<p>賛成・鍛冶</p> <p>条例改正は厚生労働省令の改正に伴うものであり、本市だけが改正しない訳にはいかない。本市にとっても要件の緩和となり、将来的に保育事業がやりやすくなるメリットがあるため賛成。</p>
--------------	---	---

### 議案第48号 平成27年度一般会計補正予算案

可決

<p>反対・多田</p>	<p>済生会江津総合病院への財政支援1億円は、「非常勤医の給与」と「入院診療収益額の穴埋め」のためとの説明だったが、予算委員会での質疑ではどちらにどれだけ使うのか未定とされ、予算計上の根拠が全くわからない。ことあるごとに「財政難」と口にするのに、このような予算案では市民の納得が得られないため反対。</p>	<p>賛成・田中利</p> <p>この補正予算は、「人口減少対策」「地域医療支援対策」「中小企業支援対策」などを目的として編成されている。済生会江津総合病院への補助は、医師不足などから収支の悪化している病院への支援であり、その他の予算も、本市の抱えている課題や市民の要望を解決していくためのものであるため賛成。</p>
--------------	---	---

議案に対する議員の賛否

議案番号	件名	議決結果	坪内涼二	鍛冶恵巳子	田中利徳	多田伸治	森川佳英	藤間義明	森脇悦朗	島田修二	石橋孝義	河野正行	土井正人	田中直文	永岡静馬	藤田厚
報告第2号	専決処分報告について（損害賠償の額および和解について）	—														
報告第3号	平成26年度島根県江津市一般会計繰越明許費繰越の報告について	—														
報告第4号	平成26年度島根県江津市一般会計事故繰越しの報告について	—														
報告第5号	平成26年度島根県江津市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越の報告について	—														
報告第6号	平成26年度島根県江津市水道事業会計予算繰越の報告について	—														
承認第1号	専決処分報告について（江津市国民健康保険条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分報告について（江津市税条例の一部改正について）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号	専決処分報告について（平成26年度江津市一般会計補正予算を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	専決処分報告について（平成26年度江津市国民健康保険事業特別会計補正予算を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	専決処分報告について（平成26年度江津市公共下水道事業特別会計補正予算を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第6号	専決処分報告について（平成26年度江津市簡易水道事業特別会計補正予算を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第7号	専決処分報告について（平成26年度江津市農業集落排水事業特別会計補正予算を定めることについて）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第8号	専決処分報告について（功労者の選定について）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	江津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	平成27年度島根県江津市一般会計補正予算（第1号）を定めることについて	〃	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	平成27年度島根県江津市一般会計補正予算（第2号）を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第5号	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	「安全保障関連法案」に反対する意見書の提出について	不採択	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●

○ 賛成 ● 反対 △ 欠席 斥 除斥

議長職は表決権なし

委員会などの構成変更について

議員の欠員にともない下記の通り、委員などが変更になりました。

委員会・議会名	役職名	氏名
議会広報・情報公開対策特別委員会	委員	田中利徳
議会改革特別委員会	委員	島田修二
浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合議会	議員	河野正行

※新しい委員会構成は江津市ホームページに掲載しています。

## 第5回 議会報告会を開催

議会報告会を5月8日から16日にかけて、4会場で開催しました。前回に引き続き「パネルディスカッション」を実施したほか、意見交換会では、市民の皆様と活発な意見交換を行いました。



川越会場

### 第1部【3月定例会の報告】

委員会・本会議の審査状況は、「市議会だより123号」に掲載していますので省略します。担当者から常任委員会の審査状況について報告しました。

### 第2部【パネルディスカッション】

「定住対策」をテーマに、各議員がパネラーとして意見を述べました。

松平会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの定住対策ではなく、住民福祉の向上など新しい定住対策が必要。</li> <li>●子育て世代への支援が一番大切。</li> <li>●雇用の場の確保。ふるさと学習や高等教育の環境整備などにより、地元就職につなげる。</li> <li>●インフラ整備や医療・福祉の充実で安心・安全な暮らしを守る。</li> <li>●農林業が生業として生活できるように、農林業の環境整備が大切。</li> </ul>
都治会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地方創生はチャンス。若者が返ってくる施策が必要。</li> <li>●邑南町は人口が増加している。いい所は参考にして施策を展開すべき。</li> <li>●定住には雇用の増加が大事。商工会議所にももっと役割を担ってもらう。女性に対するさらなる支援が必要。</li> <li>●最近、江津の活躍がニュースになっている。住んでいる人がもっと誇りと自信を持つべき。</li> <li>●誘致企業だけでなく、市内に約1000社ある中小規模の事業所にも補助や支援を行い、雇用の場の確保を。</li> </ul>
有福温泉会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工業団地の企業の増設で雇用拡大を。婚活支援に力を入れるべき。</li> <li>●医・食・住の整備を通し、今住んでいる人が不便を感じない地域づくりを。自分の娘や息子呼び戻すことが大切で、江津に住みながら浜田や大田などで働くという施策も一案である。</li> <li>●地域おこし協力隊などの受け入れを。都会から人を呼び込むことが大切。20代・30代という層にターゲットを絞った施策を。多子世帯が優先的に働ける場の確保も重要だ。</li> </ul>
川越会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年中に今後5年間の人口対策として地方創生総合戦略が策定される。内容の濃い・実のあるものになるよう期待したい。</li> <li>●若者が地元に戻る施策を展開する。駅前で若者が事業を始めている。支援していきたい。子育ては自立するまでしっかりした教育をすべき。</li> <li>●今定住している人を大切に。住んでいる人が元気であることを発信する。</li> <li>●女性が住みたくなるような町づくりを。移住から定住に結び付けるには地元の人とUターン者の相互理解が大切。浜田や大田などとの広域連携による施策の展開も大切。</li> </ul>

第3部【意見交換会】参加者との意見交換の中から、主なものを記載します。

松平会場	<p><b>問</b> 災害復旧で河川を直してもらっている。原因は河川に本来の深さがなく浅くなっているため。抜本対策を。</p> <p><b>答</b> 県・市河川ともに維持管理には相当の予算が必要。国・県対応の部署もあるので伝えていく。</p> <p><b>問</b> 地域おこし協力隊。具体的な内容は。</p> <p><b>答</b> 1名は黒松の地域コミュニティ交流センターに派遣。もう1名は全市対応と聞いている。</p> <p><b>問</b> 川平駅周辺の宅防工事は7・8月に入居開始で喜んでいる。駅から下流の早期対応を。</p> <p><b>答</b> 江の川整備計画ができていない。早く手を付けるよう要請していく。</p>
都治会場	<p><b>問</b> パネルディスカッションのテーマを前もって知らせしてほしい。どの会場も同じテーマか。</p> <p><b>答</b> どの会場も同じテーマで実施している。テーマを前もって知らせることは大事、工夫したい。</p> <p><b>問</b> 子育てしやすい環境が必要。他市では中学3年まで医療費を無料化しているが検討を。</p> <p><b>答</b> 子どもの医療費は出雲市と並んで県内で最下位。中学3年まで無料化に2200万円かかる。</p> <p><b>問</b> ふるさと納税について地元へ寄付する啓発をしてはどうか。</p> <p><b>答</b> ふるさと納税より、ふるさと応援歌を作ってはどうかと思う。江津市は情報発信が下手である。</p>
有福温泉会場	<p><b>問</b> TPP・米価対策・農業改革などの請願が不採択になっているが、農家に意見を聞いたのか。</p> <p><b>答</b> 委員会でも様々な立場があり、今回の請願は農業に限ったもので、このような結果になった。</p> <p><b>問</b> 議会だよりが非常に良くなった。</p> <p><b>答</b> 今回リニューアルした。皆さんに見てもらえるよう、今後も意見を聞きながら改善していきたい。</p>
川越会場	<p><b>問</b> 小中学生の学力を向上するようにすべき。</p> <p><b>答</b> 学力日本一の秋田県を視察し、学力アップを目指している。江津の教育環境をしっかりと生かした取り組みを進めたい。</p> <p><b>問</b> 図書館整備を進めるべき。学校教育において郷土資料館は必要。水の国の活用を考えているか。</p> <p><b>答</b> 今の図書館は倉庫化しており時代に合った図書館を早くつくるべき。水の国は年間約1000万円の経費が掛かっている。本市の公共施設全体での維持管理費は約7億円の経費が必要で、見直しを進めるべき。文化伝承は子どもたちのために必要である。</p> <p><b>問</b> 済生会病院の医師・看護師不足を心配しているが、どうか。</p> <p><b>答</b> 妙案がないのが現状である。苦慮している。様々な手を打っているが、今すぐ結果が出ない。根が深い問題だ。総合診療医の養成などが必要だと考えている。</p>

市長に議会報告会で市民より  
いただいた意見をまとめて報  
告しました

平成二十七年七月八日

江津市長 山下 修 様

江津市議会議員 藤田 厚

○子どもの貧困について、朝食をとらない子や学力が低いのも心配している。学校だけに任せずもっと検討すべきでは。

○コミュニティについて、サルの被害などもあり、コミュニティ連絡協議会をつくってはどうか。

○広島から有福温泉までの高速バスをもっとPRしてほしい。

○定住対策としても若者定住住宅をつくってほしい。

○河川の土砂がたまって浅くなっている。抜本的な河川管理をお願いしたい。

○川平駅周辺の宅防工事。7・8月に入居開始に地元は喜んでいる。駅から下流の方は前回説明会以降、具体的な動きがないが、川平地域の生き残りがかかっている。早期に対応してほしい。

○外にばかり目を向けた発信ではなく、地元に残りたい若者を支援する方策も必要ではないか。

○済生会病院の医師・看護師不足を心配している。特に消化器内科の医師がいらない。

# 市議の 市のA&Q

江津市をもっと

暮らしやすく、

元気な

# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」↓「会議録検索」から見ることができます。(ただし掲載は次期定例会の前になります)

## 道の駅 増床と魅力化を



石橋 孝義

**Q** 道の駅「サンピコごうつ」の売り場増床と、交流人口増につながる魅力化を。

**A** 多くの利用者で混雑している。直売所東隣のスペースも視野に幅広い検討をする。魅力化については、管理者のふるさと支援センターめぐみ、生産者、利用者、それぞれの課題を議論し、有効な対策を講じたい。



道の駅「サンピコごうつ」

## 【危険家屋対策】

**Q** 市内全域で危険家屋を見かける。安全・安心のため、行政の指導が必要。条例の制定も必要ではないか。

**A** 空き家の利活用を含め、空き家対策庁内検討委員会で検討する。市民の安全・安心に支障がないように、行政として取り組みたい。

## 市内観光施策の状況は



藤間 義明

**Q** 江津駅前での取り組みは。

**A** 公共複合施設やホテルの建設が進んでおり、本市のブランド化や新規出店促進とあわせて、交流人口増加を図りたい。

**Q** 有福温泉での取り組みは。

**A** 火災跡地での景観整備やトイレの新設などで魅力アップを図る。関係団体と連携で観光客増加への施策を検討したい。



建設中の江津駅前ホテル

**Q** 風の国での取り組みは。

**A** コンサルタント2名が常駐し、実践を通して指導。観光客の増加を図っていく。

**【再生可能エネルギー】**

**Q** 観光面での活用は。

**A** 江津商工会議所が中心となり、再生可能エネルギー施設を核とした産業観光開発プロジェクトが実施されている。県企業局とも連携し、観光資源として活用したい。

## 食育の推進で給食残飯ゼロに



鍛冶 恵巳子

**Q** ノロウイルスによる給食停止を教訓に、安全・安心な給食の提供を。

**A** 調理職員やその家族にノロの疑いがあれば、高感度の検便を実施し、無菌を確認するまで出勤停止とした。清掃・消毒の徹底や研修増による職員の意識改革を図る。

**Q** 学校給食の食べ残し量を減らす取り組みを。

**A** 平成25年度の1日での平均食



親子給食会での給食

**【子どもの医療費】**

**Q** 子育てに必要な継続的支援として、医療費の負担軽減を。

**A** 医療費の負担軽減は、子育ての費用を軽減する観点からも有効な手段。軽減措置の拡充を県に強く働きかける。さまざまな観点から検討する。

べ残し量は、江津給食センター約126.1kg、桜江センター約0.8kgで、県平均残量率4.1%に対し、本市平均残量率は6.7%となっている。調理方法や味付け・食育の推進・季節の食材・手作りなどで工夫して、今後も取り組む。

## 教室への エアコン設置を



森川 佳英

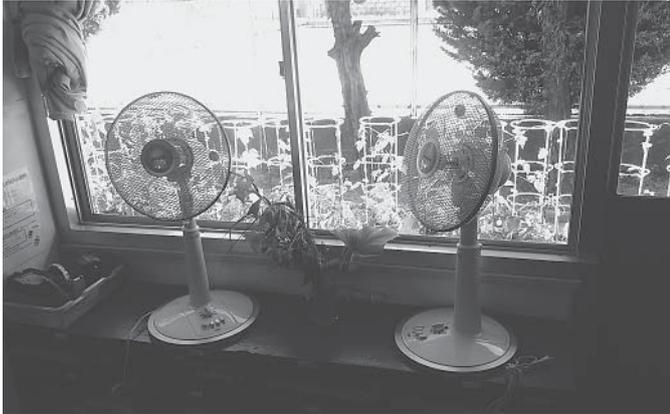
**Q** 学校環境衛生基準では教室内の温度を10〜30度としているが、古い鉄筋校舎は断熱効果が悪く、猛烈な暑さの中で子ども達は授業を受けている。教育環境の整備や学力向上の観点から教室へのエアコン設置を。

**A** 教育環境の整備は行政の義務・責任だが、子ども達の忍耐力を育むことも教育の役割として大切と考える。エアコン設置は多額の財源が必要で、本市の厳しい財政状況では考えていない。学力向

上の観点では、集中力の維持で効果が期待できるが、エアコン設置だけでは解決せず、児童・生徒の家庭学習の充実、教職員の指導力向上、学ぶ力学んだ力を高める授業の推進が必要。

**Q** 教室での室温調査を行っているのか。

**A** 毎日の室温記録は取っていないが、暑い日には熱中症チェックで対応している。今後、湿度について報告を求め、管理することも検討。



教室に設置された扇風機

## 多子世帯への 支援を



坪内 涼二

**Q** 本市では第3子以降保育料軽減事業を実施しているが、3歳未満の児童に限定しており、本質的な多子世帯支援につながっていない。第3子以降の完全無料化を。

**A** 保育料を全額免除した場合の保育料軽減額を1500万円程度と試算しており、全額市の負担となる。単年度で終わりという訳にはいかず、継続的に行うための財源確保が必要。県に対し制度拡充を強く求める。また県の制度拡充がなされない場合であっても、前

向きに検討すべき課題であり、市内の人口減少問題検討委員会の中で導入に向け検討していく。

**Q** 2人以上の子どもが同時に保育園に在籍する・しないに関わらず、世帯内の子どもの数によって支援すべきでは。

**A** 財政的にも厳しい問題。限られた財源を有効に活用し、さらに充実するよう取り組む。引き続き、国・県へ要望していく。



多子世帯支援商品券

## 市政発展のため 県議との協力を



島田 修二

**Q** 市政発展のため、県議会議員との協力体制の構築・強化が必要では。

**A** 県議会議員が誰であれ、これまでと変わることなく、全力を傾注して市政運営に努める。本市が抱える課題はたくさんあり、この課題をひとつでも多く解決し、次を担う人は江津で生まれ育った人に引き継ぐことが市長としての役割だと考えており、それが望ましいと認識している。

### 【公共交通】

**Q** 中山間地域などにおける拠点化の整備にあわせ、今年度中に交通体系の再構築を図るための公共交通に関する基本計画が策定されるが、策定にあたっての基本的な考えは。

**A** 少子高齢化、人口減少が進む地域住民の自立的な日常生活を確保するため、公共交通手段が利用できない地域の解消はもとより、持続性の高い公共交通サービスの提供、さらには人口減少社会を見据えた集約型のまちづくりと連携した公共交通のあり方を基本に検討する。

### 【電波障害】

**Q** ラジオ・携帯電話は災害時の情報収集ツールとして大変重要だが、いまだに電波の届かない電波障害地域がある。電波障害地域解消に向けての対策は。

**A** 安定した受信の出来ない地区があり、今後も、電波状況の改善のため、複数の携帯電話事業者と粘り強く交渉する。

## 新教育長の 所信を問う



田中 利徳

**Q** 本市では新教育委員会制度へ移行し、新教育長に小笠原氏を任命した。新教育長の所信は。

**A** 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」、知・徳・体のバランスのとれた人格形成を進める。日本や世界を見渡す広い視野を持ちつつも、故郷江津に誇りを持ち、江津の未来を担う気概を持った子どもたちが育つ教育環境づくりに努めていきたい。

### 【地域コミュニティ組織】

**Q** 各地域コミュニティ組織の育成と活性化は、「江津版総合戦略」実施の基盤であり、失敗は許されない。積極的な支援策を。

**A** 早い時期に組織が設立された地域では、自主防災活動など様々な活動を精力的に行っている。地域コミュニティ組織を軌道に乗せるには、それなりの年数を要すると思われるので、根気強く、今までも増して、細やかなサポートを心掛ける。



嘉久志地域コミュニティでの「リレー講演会」

## 伝統文化を 守り育て、 まちづくりを



田中 直文

**Q** 本市には多数の文化的財産がある。その保護と継承を。

**A** 文化財の管理・保護については、基本的に所有者・保持者の責任のもと管理をお願いしている。市の指定文化財については、文化財保護条例に基づき、必要に応じて適切な管理・修復を行っていたり、指定外の文化財は定期的な管理状況の確認の上で、専門的観点から管理・継承の助言を行っている。

**Q** 本市の創生を図るため、知的観光資源としての文化財の見直しを行い、郷土の文化的財産を活かしたまちづくりを。

**A** 文化的財産は市民全体で理解し保護を推進していく必要がある。伝統文化はまちづくりの原点。本市の文化財の指定は、国・県に比べ遅れているが、今後、文化的財産を保護・継承するためにも指定を検討する。また、「文化財マップ」などを作成し、学習や観光資源としての活用も検討する。



国立劇場で古儀を披露した  
国指定重要無形文化財「大元神楽」

## 中小企業支援を



多田 伸治

**Q** 27年度予算では、誘致企業7社への補助金1億円に対し、1000以上ある中小企業への補助金は5000万円で、新規出店や新製品開発などに限られる。また、江津駅前ホテルにのみ4億円を無利子融資する。不公平ではないか。

**A** 公平であることは理想だが、市民の理解が得られる公正さで判断すべき場合もある。指摘された事業は市の重点課題。中小企業の経営維持の支援も行っている。

**Q** 「経営維持の支援」とは。  
**A** 商工会議所などと連携し、必要なら施策を行いたい。

**Q** 誘致企業向け補助制度の条件緩和や融資制度の創設で中小企業支援を。

**A** 中小企業や商店の要望が把握できれば対応する。

**Q** 商工観光課の「企業まわり」では、どれくらいまわり、どのような要望があったか。

**A** 「企業まわり」の実績は把握していない。補助や融資の制度は考えていない。

補助金対象となる誘致企業

企業名	27年度の雇用計画
(株)日本パーカーライジング	8人
合同会社しまね森林発電	15人
播磨屋林業(株)	7人
トップ金属工業(株)	5人
イーグルハイキャスト(株)	なし
第一稀元素化学工業(株)	2人
ドクターリセラ(株)	10人

# 江津市議会活動レポート

## 本町地区との意見交換会

(全議員対象)



江津本町地区まちづくり推進協議会と江津市議会による意見交換会が開催され、12名の議員が参加しました。「本町街並み推進整備事業」の取り組み状況や課題などについて意見交換を行いました。

## 江の川分水について研修

(市議会議員クラブ)



元江津市助役の砂田忠氏を講師にお招きし、「江の川分水と沿革について」と題して講演をしていただきました。土師ダム完成から40周年が経過し、史実を継承することの大切さと、江の川の豊かな水は流域の財産であることを学びました。

## 県市議会議長会研修

(全議員対象)



「議会人が知っておきたい危機管理術」と題して、市町村アカデミーの大塚康男客員教授による講演が行われ、議員の不祥事など、リスク管理能力や住民への説明責任、透明性を確保した行動を身につけるための研修を受けました。

## ヒラメ放流事業に参加

(建設厚生委員会)



採る漁業から「つくり育てる漁業」を推進するため、小学生を対象にヒラメ稚魚放流体験が行われました。今回は江津東小学校2年生と一緒に稚魚1,000尾を日本海に放流しました。

## 故小林博昭議員を市政功労者表彰

5月22日にご逝去された故小林博昭議員に対し、山下修市長から市政功労者としての表彰がありました。小林氏は、江津市スポーツ少年団本部長や江津市体育協会副会長などを歴任し、本市のスポーツ振興、青少年健全育成に尽力されました。



市議会本会議で黙祷し、田中利徳議員より追悼のことばが贈られ、故人を偲び、哀悼の誠を捧げました。

### 次回 9 月 定 例 会

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17	18	19	20	21 全員協議会	22
23	24	25	26	27	28 本会議	29
30	31 (議員懇談会)	9/1	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4 委員会	5
6	7 委員会	8 委員会	9 委員会	10 委員会	11 委員会	12
13	14 委員会	15	16 (情報交換会)	17	18 本会議	19

請願・陳情締切 8月19日午前中まで (郵送不可)

### 議会を見学しよう

江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁3階の議会事務局までお越し下さい。

### 議会に参加しよう

議会に対して陳情などを提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実状を訴え、適切な措置を要望することです。

### 編集 集記 後記



田中 直文

若手議員も加わった議会広報・情報公開対策特別委員会は、視察研修や勉強会を重ね、「市議会だより」が分かりやすく読みやすい紙面となるよう心掛けてきており、本年5月号よりリニューアルしたところです。

早速、市民の皆さんから反響があり、概ね好評をいただいています。今後も皆さんの声を反映し、さらなる紙面の充実に努めていきます。

梅雨明けのこの時期、気象変動に細心の注意をさせていただきます。

#### 編集・発行責任者

議長 藤田 厚

#### 議会広報・情報公開 対策特別委員会

委員長 島田 修二  
副委員長 多田 伸治  
委員 坪内 涼二  
委員 鍛冶恵巳子  
委員 田中 利徳  
委員 田中 直文